

A この加西中央幹線4車線には、私も情熱をもち、今日まで来た。私は県の担当者に出会うたびに都市計画の決定を打つことを催促していたので、こういつ県の方針転換に落胆している。

県は、加西市に対して今日まで加西中央幹線4車線で都市計画を打つべく市の方にいろいろと要請をし、費用もかけていただいで努力していただいた。しかし、県はいまこの状況の中で都市計画が打てずに申しわけないので、交差点改良、そして安全・安心の道づくりという観点から、何とかこれを聞いてほしい。地元にも説明させていただくということ、当然説明責任として、部長の方では地元の意向を十分聞いた上で議会の方へ説明しようという意図で説明会を開いたよ。うだ。

4車線でないという受け入れないとなれば、都市計画の決定が必要となり、工事はできないわけ、非常に断腸の思いであるけれども、今日の加西市の道路事情、そしていまちょうど県は来年度の予算の準備で、17年度に早速道路の整備、それから交差点の改良に取りかかるのには、いまがタイ



ムリなところということ。決してすくには、わかりましたと答えたわけではない。地元の十分な意向も説明した上で同意を得、説明責任を果たしながらこの問題を解決していく、こう、という思いで今日まで来ている。

税金の使い方

Q

千葉縣市川市のように加西市の個人

市民税1%相当額(約1700万円)の使い方を、納税者自身が決める制度を採用できないか。納税者が税の行方、税の使われ方、こういことに関心を持って見守っていく、という意味で、非常に役に立つのではないか。

A

(市民活動支援制度) これはまだ全国的にもあまり例がない。非常に目新しいことで興味をもっている。その内容をよく調査をして、十分に検討した上で決めたい。

中学校のクラブ活動

Q

少子化は学級数の減、また先生の数

にも影響が出ている。その結果、クラブ活動ができなくなりつつある。市内の学校間で部があるなしという状況になることに対して、どのように思うか。先生は現在どのような形で部を受け持っているか。サポート制度の活用や、部活の補助員制度の土日の規制緩和についても、県に強い働きかけをお願いする。それと同時に市独自の対応を考えられないか。

A

自分の好きな運動で、体じばいを使い仲間とともに汗を流すことは、肉体的にも精神的にも大きく成長する。思春期の生徒に、何より必要とらえている。生徒のT.S.に合う



放課後、部活動で汗を流す中学生

た運動クラブをすべて用意することとは理想だが、生徒人数により教員定数が決まることから、すべて用意するに至らないのが実態。市内4中学校で男女とも顧問がなんとかがあるのは、いまのところ陸上競技、バレーボール、サッカー、剣道、軟式野球の5部。少子化で学級減になり、廃部あるいは休部せざるを得ない状況の学校があるのも現実で、クラブ数の減少は理想から離れるが、仕方のないものにとらえている。安全な部活動のためには、一つのクラブに2名以上の担当を配置しなければならず、ある中学校では、副担当が他のクラブを兼ね持ちして、何とか現状のクラブ数を維持している状況。

各学校により、生涯スポーツと

中学校給食

Q

学校給食について、加西中学校の

給食費は1カ月4100円で1日241円、他の3中学は民間の業者で希望者だけ給食をされる予定と聞く。その場合は1食400円とのこと。この差額は市で負担するのが。

A

中学校の学校給食は、

民間による給食を施行したいと考えているが、その内容が一部保護者の思いと食い違っていて、現在実施方法の詳細についてPTA役員と協議を進めている。希望者の方に実施する希望選択性という案がPTAの了解が取れば、原則受益者負担という形で考えている。加西中の給